

平成28年7月号

労働法講演会のご報告と御礼

6月8日、当所の労働法講演会を開催させていただきました。

昨年に引き続き、9年目の開催となりましたが、顧問先・会員事業所の多くの皆様にお越しいただき、本当にありがとうございました。

講演会は、次のような内容でした。

1. マイナンバー制度の利活用とアベノミクスの労働政策
2. 【ケース1】「介護休業について」
3. 【ケース2】「労働基準監督指導の実務対応」
4. 【ケース3】「マイナンバー制度の実務対応 パート2」

講師：所長 平井 繁利 次長 青山 直希
 主任 坂 隆昭 佐藤 久美子

— 平成28年 労働法講演会の風景 —



2016年度 新入社員 春の意識調査

公益財団法人日本生産性本部は、今春実施した新入社員教育プログラム等への参加者を対象としたアンケート結果をこのほど「新入社員 春の意識調査」として報告しました。本調査は1990年より継続的に行われており、今回が27回目になります。

< 主なポイント >

1. 【過去最高】 これからの社会人生活が不安だ 52.4%
 「これからの社会人生活は不安より期待の方が大きい」との問いに対し、「そう思う」と答えた割合は、47.6%と過半数割れ。「そう思わない」との回答が52.4%と逆転し、調査開始以来、過去最高を記録した。男女内訳をみると、男性51.0%、女性56.2%と、女性のほうが社会人生活に不安を抱いている割合が高くなっている。
2. 【過去最高】 残業が少なく、自分の時間が持てる職場がよい 74.7%
 「残業は多いが自分のキャリアや専門能力が高められる職場」と「残業が少なく、平日でも自分の時間を持って、趣味などに時間が使える職場」のどちらを好むかとの問いに、残業が少ない職場を好むと回答した割合が前年比7.5ポイント増の74.7%となり、過去最高となった。
3. 【過去最高】 年功序列での昇格を望む割合 42.3%
 「仕事を通して発揮した能力をもとにして評価が決まり、同期入社でも昇格に差が付く職場」より、「年齢や経験によって、平均的に昇格していく職場」を望む人の割合は、42.3%と調査開始以来、過去最高となった。
4. 【過去最高】 良心に反する手段で進めるように指示された仕事であっても従う 45.2%
 「上司から、会社のためにはなるが、自分の良心に反する手段で仕事を進めるように指示されました。このときあなたは、・・・」との問いに対し、「指示の通り行動する」と回答したのは、過去最大の45.2%となり、前年より、7.4ポイント増加した。従わないとの回答は10.6%で1.1ポイント前年から減少。分からないとした割合は44.2%。前年比6.3ポイントの減少。

公益財団法人日本生産性本部 プレスリリースより抜粋

「人手不足」企業は55.6%

日本商工会議所が発表した「人手不足等への対応に関する調査」の結果によると、人員の過不足状況について、「不足している」と答えた企業は55.6%となり、昨年の調査よりも5.3ポイント上昇していることが分かりました。

【人員の過不足状況について（前年調査比較）】

	社	%
不足している	1,336 (1,319)	55.6 (50.3)
過不足はない	955 (1,195)	39.7 (45.5)
過剰である	91 (93)	3.8 (3.5)
無回答	23 (18)	1.0 (0.7)
合計	2,405 (2,625)	100.0

※括弧内の数値は、平成27年調査での数値結果

— 日本商工会議所 ニュースラインより抜粋 —

☆ 今年の講演会は、労働政策の変化への理解とともに、介護休業制度や労働基準監督指導の実務対応、また1月から運用が開始となったマイナンバー制度をテーマに取上げました。当日は昨年より多い、200名近い出席者で会場は埋め尽くされました。皆様からは、『タイムリーな話題で早速検討したい』『勉強になった』『テーマは難しかったが、分かり易かった』との感想が聞かれました。

来年（平成29年）も、6月12日（月）に同会場での開催を予定しております。 鉛筆子